

浜松協働学舎 支える会だより

2013年6月15日発行 NO.52

〒433-8108 浜松市北区根洗町681番地の5 Tel 053-430-0596 代表 疋田勝子

浜松市西区大人見町に 新しい障がい福祉サービス事業所を建設



工房ゆう建設地	浜松市西区大人見町
事業の種別	生活介護（20名）日中一時支援（2名）
設置運営主体	社会福祉法人ひかりの園
敷地面積	1647.15 m ²
延床面積	720.90 m ²
構造	鉄骨造2階建
工期	平成25年9月～平成26年2月
事業開始	平成26年4月



工房だん 東京ディズニーランドへ



工房だん一泊旅行 東京ディズニーランドへ行ってきました。



工房めい 沖縄へ



工房めい一泊旅行 沖縄の度 国際リ、沖縄舞踏ショーにて、舞台上にてシーサーと。



ケアホームこもれび 鳥羽伊勢へ



ケアホームこもれび 一泊親睦旅行 鳥羽伊勢の旅



国美ら SUN ビーチにて。

旅をたのしむ

浜松協働学舎の仲間たちは旅行が大好きです。この日のために一生懸命働いているといってもいいぐらい、仲間たちは旅行に行く日を心待ちにしています。半年前からどこに行こうか話し合っ行って行き先を決めます。職員たちも喜んでもらおうと、十分な準備をして旅行に同行します。

仲間たちにも職員にも大切な思い出が刻まれる大切な体験となります。



ケアホームラポール根洗 伊豆へ



ケアホームラポール根洗 一泊親睦旅行 伊豆堂ヶ島にて。



ビールで乾杯！

優しく、悠々と、遊び心ゆたかに

工房ゆう 建設計画

浜名湖大人見海岸から高台に上がった大人見団地の南側、浜松環状線から少し北に入った場所が「工房ゆう」の建設地です。

すでに造成工事が始まっています。

大人見の地元住民の皆様の深いご理解のもとに、浜松市西区の新しい福祉コミュニティ拠点が誕生します。

オープンは来年4月です。

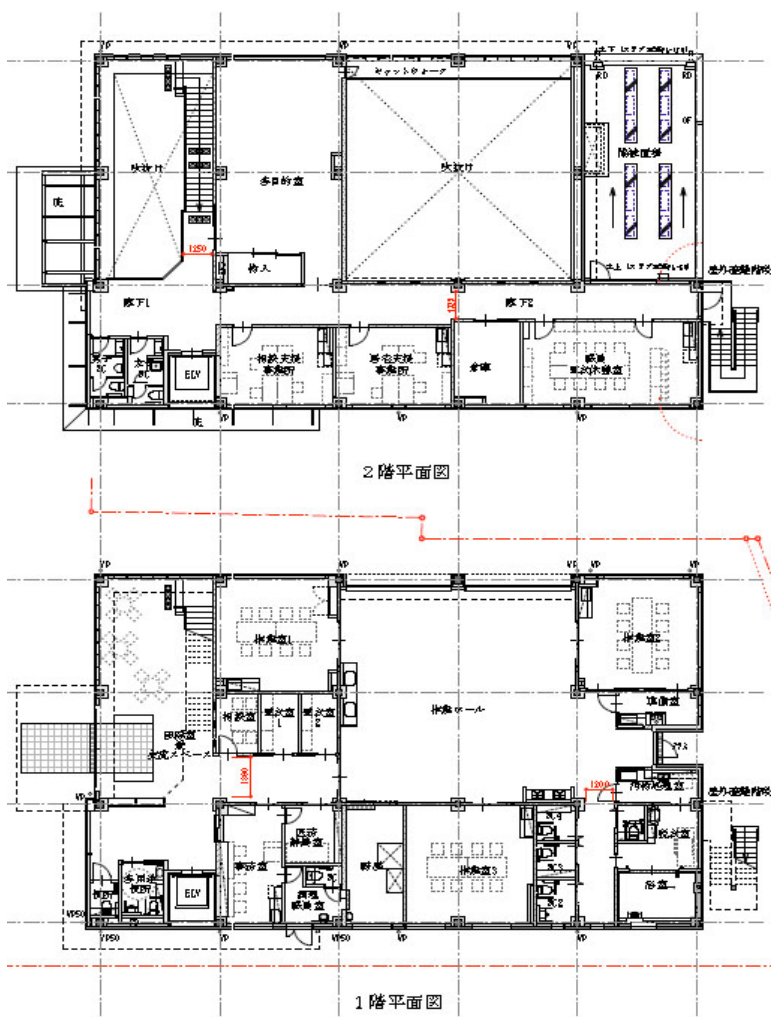
どうかよろしくお願いします。



社会福祉法人ひかりの園では、平成二十五年度の事業として浜松市西区大人見町に、新しい障がい福祉の拠点を建設します。優しく、ゆったりと過ごせる場所になるようにと「工房ゆう」と名付けました。生活介護（障害者総合支援法による）定員二十名、日中一時支援二名の規模で、平成二十六年四月より運営を開始します。

人に合わせた生活しやすい環境が必要です。その環境は充分とは言えませんでした。そこで知的障がいと身体障がいを併せ持つ人（重症心身障がい及びこれに準じた人）が生活、活動しやすい環境を整え、援助者の専門性を向上させた（身体障がいに対する支援及び医療的ケア）福祉サービス事業所の設置を計画いたしました。

「工房ゆう」は浜松市西区大人見町にて建設中です。現在、西区は障がい福祉サービスの事業所が少なく、浜松市内の福祉基盤整備のバランスを考えると西区に障がい福祉サービス事業所の設置が求められていました。またひかりの園では、相談支援事業所などを西



区湖東町で開設しており、西区の障害のある人、そのご家族の相談に応じながら関係機関との連携を密にしていること、また平成二十五年四月には西区大久保町に「こども発達支援センターたつく」を開設していることから、総合的な福祉拠点として西区の地域福祉の向上に寄与したく、西区での開設となりました。

生活介護事業（定員二十名）と日中一時支援事業（二名）で運営します。

活動の内容は、浜松協働学舎のこれまでの事業所と同じように作業を取り入れ、利用される人が積極的に地域社会の一員として参画するための支援を行います。

重度重複障がいのある人たちのための事業所ですので、看護師を常時配置して医療面の支援を充実させます。また、厨房を完備し、特別食（嚥下食等）への対応を行ったり、入浴サービスも提供します。もちろん、身体障がいへのアプローチとして機能訓練等も活動の中に入れ、特色ある福祉事業所としていきます。

（鈴木秀明）



■ 四月より、根洗寮わくきユニットで働いています。杉本理恵です。

突然ですが私の夢を紹介したいと思います。

二十歳の時に心に決めた夢です。それは、結婚したら旦那さんと一緒に全都道府県を旅行するというものです。一年に一県を訪れ、四十七年かけて全国を制覇したいです。ですが、現在私は三十四歳、独身。いつ夢が果たされるのかわからぬまま、おひとり様を満喫しています。まだ完全にこの夢をあきらめてはいませんが、若干弱気になっております。今年から一人でもいいから旅行を始めたいとおもうか・・・というわけで、全国各地の楽しそうな観光情報募集中です！見かけたら是非情報提供してください。よろしくお願いします。

新任職員の紹介

浜松協働学舎の新しい職員を紹介します。新卒者、転身組、それぞれ個性あふれるスタッフです。どうかよろしくお願いします。

井や掛川へ行ったり、磐田で過ごしたり、浜松でランチ、買い物をしたりと、休日在家でぐだぐだ過ごしたくないという一心で、あちこちに出発しています。西部のおススメ情報ありましたら教えて下さい！

一人ひとりの利用者の方々の笑顔を大切にしながら、私自身も笑顔を大切にしていきます。どうぞ、よろしくお祈り致します。

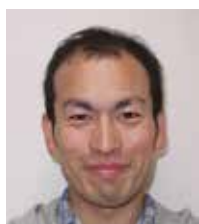


■ 根洗寮たんぽぽユニットで勤務させていただくことになりました、坂田和世です。この三月に結婚をして、四月に相手の住む浜松へと引っ越してきました。主人も京都府出身、私も奈良県出身で、浜松は未知の地です。休みになると、館山寺方面や浜松駅周辺、袋井市の方へも出かけて、開拓しています。浜松駅周辺を周遊するのに、自転車を買おうめましました。浜松おすすりスポーツなどありましたら、ぜひ教えてください。

浜松のこと、利用者のこと、ご家族のこと、どんなことでも、コミュニケーションをとっていききたいと思っています。誠実な支援を心がけて務めていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

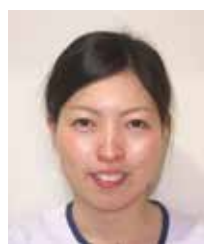


■ 四月より根洗寮あさぎユニットで勤務させていただきます。愛知県豊橋市出身で浜松からは近場ですが、実際浜松のこ



■ 四月から根洗作業所で生活支援員兼事務員として勤務している山名一暢です。

前職は転勤があったので、今までの人生で九回の引越しをしています。荷



■ 四月から根洗作業所で勤務いたします森山瞳子です。私は元々、旅行関係の専門学校を卒業したのですが、就職活動を通して様々な企業を見ていく中で、福祉業界に興味を持ち現在に至りました。

旅行の勉強をしてきた為、もちろん旅行に行くことも大好きで、一番最近では卒業旅行でフランス・イタリアに行きました。旅には付き物と言われるハプニングも多々ありましたが、とても充実した十日間でした。

そして私のもう一つの趣味はジャニーズのライブに行くことです。友達から「ジャニーズオタク」なんて言われる事もあり、初めは抵抗がありましたが、最近では「確かに、間違っていないかも・・・」なんて思っている今日この頃です。まだまだ未熟な私ですが、利用者さん・職員の方々等たくさんの方の関わりの中で、大きく成長していきたいと思っています。



■ 四月より根洗寮に入社しました杉山泰崇です。

私を少し紹介させて頂くと、ホタルイカで有名な富山県出身。中途半端に覚えた遠州弁で早く仲間を作りたいと頑張る三十歳、男性です。食べるのが大好きで、美味しそうな料理をみつけると試行錯誤しながら作ったりしています。

気軽に声をかけて頂ける、そんな親しみやすい職員になりたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



■ 四月より根洗寮さくらユニットに配属となりました鈴木ひとみです。私の実家は磐田市(旧豊田町)にあります。高校は袋井市へ通学していたので、休みの日は友人に会いに袋

浜松市障害者相談支援事業（西区）

あなたの街の暮らしを応援

相談支援事業所 まど

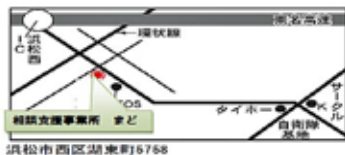
発達障害のあるお子さん、障害のある方、ご家族の地域生活を応援します。

成人の方
市内にお住まいの障害がある、またはあるとと思われる方についてご本人、ご家族、関係者の方のご相談に応じます。
○主な相談内容
「困っているのよ、一緒に考えてほしい」「制度やサービスのことを教えてほしい」など。

お子さん
市内にお住まいの0～18歳の方の発達や生活、子育てについてのご相談に応じます。
○主な相談内容
「発達障害に悩んでいるのよ、一緒に考えてほしい」「子どもが受ける制度やサービスのことを教えてほしい」など。

○相談は無料です。
○資格のある職員が相談にあたります。
○市の機関や学校、病院、福祉施設との連携により必要な支援を行います。
○通訳サービスも提供いたします。
○内閣府指定の発達障害支援センターです。

月～金 8:30～17:30
土 8:30～12:30
日・祝祭日休



電話・FAX
053-486-3662

430-0596（相談室）、430-9318（相談室）
※430-0596（相談室）でも相談を受け付けます。

浜松市西区湖東町6768

物は常にダンボールに入れてあるままだったので、引越し業者さんとの事前打ち合わせでは、「ほとんどの荷物が既にダンボールに入っています。梱包する荷物はキッチン用品ぐらいしかないですね。もしかして転勤族ですか？」と毎回言われました。そんな転勤人生でしたが、子供ができたことをきっかけにUターン転職を決意し、地元浜松へ帰ってきました。趣味は、休みの日に料理を作ることです。昔は大雑把なものしか作れなかったのですが、最近はいかに綺麗に盛り付けるか、野菜を盛り込んだ好き嫌いのない子供が食べる料理を作れるかというところに力を入れていきます。料理を作るだけでは物足りなくなり、料理で使う野菜を自分で作ってみようと思い、野菜の苗を購入し畑で育てています。先週はどんな葉っぱが広がってきた紫蘇を収穫し餃子を作ってみました。毎朝、苗の成長を確認して喜んでいます。目指せ、自給自足です。

転職により新しい環境になりましたが、自分の培ってきたことを生かし、さらに勉強をし、頑張っていきたいと思っています。



静岡県共同募金会（赤い羽根共同募金）よりの受配 温かいご支援本当にありがとうございました。

事業の内容…ワゴン車整備事業
・助成金額…1,355,000円
・事業の総額…2,258,700円

クリーンエシジョンの際などの移動では、車が欠かせないものになっています。平成十一年の開業当初に購入した車両は十キロを超え、所々で故障が目立ち始めたこともあり、買い替えを思案中でした。今回助成をいただくことができたので、これからは安心して快適に買い物やレクリエーションに出かけることができると、仲間たちも大喜びです。

静岡県共同募金会様のご高配に感謝申し上げますとともに、赤い羽根共同募金に温かいご寄付を寄せていただいた皆様に、心より感謝申し上げます。（坂中夕也）



ラポール根洗・ワゴン車

ラポール根洗では現在七名の仲間たちが生活していますが、買い物やレクリエーションの際などの移動では、車が欠かせないものになっています。平成十一年の開業当初に購入した車両は十キロを超え、所々で故障が目立ち始めたこともあり、買い替えを思案中でした。今回助成をいただくことができたので、これからは安心して快適に買い物やレクリエーションに出かけることができると、仲間たちも大喜びです。

こもれび・軽ワゴン車

ケアホームこもれびでは軽ワゴン車を頂きました。現在、食材の買い出しや通院支援など、他事業所の車両を使い行っていました。しかし、夜間の救急等有事の際の車両は不可欠であるため、今回申請させていただきしました。受配をうけ、今では他事業所の車両を使うことなく業務が円滑になりました。ありがとうございます。大切にしたいと思います。（犬塚 淳）



事業の内容…車両整備事業
・助成金額…628,000円
・事業の総額…1,047,200円

ありがとうございました
今年も浜松グリーンライオンズクラブ様、浜松ライオンズクラブ様より、たくさんの方のタオルの寄贈をいただきました。
毎年、クラブの会員の皆さんがお年賀等で集まったタオルを根洗寮に届けようと思っています。
おかげさまで、日々の施設の暮らしで、いつも清潔で柔らかなタオルを活用させていただいています。ありがとうございました。



青葉の家・焼き菓子梱包用シーラー

パン工房こもれびでは、焼き菓子の製造販売をしております。しかし、包装機械がないため賞味期間も限られ、量産できずお客様からの要望に応えられていませんでした。このシーラーの導入で量産体制がとれ、仲間たちの作業活動が活発になり、売り上げ増で工賃アップに貢献したいと思っています。大切にしたいと思います。

（犬塚 淳）

事業の内容…卓上シーラー設備整備事業
・助成金額…149,000円
・事業の総額…199,815円

意思決定の支援こそが

私たちの仕事！

「意思決定の支援」は福祉職員の責務であると、法で定められました。

四月に施行された障害者総合支援法では、新しく福祉施設職員の責務として「意思決定の支援」が明記されました。

知的障がいがあつて、どんなに「最重度」といわれる人でも、その人なりの意思があります。意思のない人間なんていません。

私たちは「何を食べ、何を着るか」というような身近に関することから、「どこに住もうか」等の社会生活まで、日常生活において意思決定をしながら生きています。誰もが「私は、このように生きたい」「私はくしたい」と思いつつ暮らしています。この気持ちが無視されたらどうでしょうか。「したいことを止められた」「したくないことをさせられた」「思いが伝わらない」…自分の思いや願い、主体性や尊厳が大切にされないことは、人にとって最も辛いことです。

知的障がいのある人たちは、自分の意思を上手く伝えることが苦手です。職員は、表情やしぐさなどのわずかな動きに表現を感じて、ご本人のしたいことを理解するように努めています。相手の気持ちを感じる能力は、福祉の現場で働く者にとって最も必要な資質だと私は考えています。

私たちは自分で思い、考えて自分の意思で自由に行動しますが、浜松協働学舎の利用者さんの「意思」は、支援者の側がそれを察して、理解して、初めて声になる場合が多いと思います。

そう考えると、上手に自分の気



持ちを理解してくれる支援者がいるかどうかが不幸の境目になります。深く理解してくれる支援者には、ご本人も自信をもって自分の意思をはっきりと表現するようになります。反対に自分の意思をわかってくれないと、「これだけ言っても分かってくれない」「どう伝えてよいかわからない」という不安や怒りから、その人自身や周囲の人を傷つけてしまうような行動になってしまふ場合も多々あります。ですが、支援者がその人と根気強く安心感に基づく信頼関係を築いていくと、その人も満足でき、周囲にも受け入れられるような意思表現に変わります。

「指導訓練」「介護」から「意思決定支援」の時代に

一昔前の時代の福祉では、本人の意思を大切にするというよりも、むしろ「指導」や「訓練」「治療」という観点から、支援者が良かれと思うことを利用者押し付けてきました。次の時代（介護保険制度に伴い障害者分野も「福祉サービス」と言われるようになってから）では、「食事、排せつ、入浴などの日常生活の介護」が支援者の仕事とされ、報酬に見合う支援や介護のスキルの質が求められるようになりました。

しかし、知的障がいのある人にとって最も大切な「意思決定の支援」が専門職の仕事だとは、少なくとも公的には語られてはきませんでした。今回の法改正で「意思決定支援」が責務となったことは画期的なことです。

声なき声を聴くことから

利用者さんの「声なき声」を聴くことこそが、知的障がいのある人を支援する職員の「専門性」だといわれるようになる時代が来ると思います。

浜松協働学舎の職員は、言葉のコミュニケーションをもたない利用者さんの気持ちも分かると言います。しかし「利用者さんの気持ちはよく伝わるけど、それに充分に応えてあげることができない。申し訳ない。」とも語ります。利用者さんの思いを感じつつも、利用者さんに本当に満足してもらう支援が実現できないことに悩むのが現場の実実です。

私たちの仕事は、人が人を

支える仕事です。利用者さんの満足が私たちの自己実現になります。また、援助する側が実は支えてもらっていることに気づくこともよくあることです。ともに支え合う関係の、こうした相互のやりとりを通して気持ちに分かるようになるのだと思います。ともに支え合う関係性の中に「意思決定支援」

のポイントがあると思います。利用者さんに寄り添いながら過ごしていると、ふと「声なき声」が聴こえてくるときがあります。それは「言葉」ではなく、むしろ魂への呼びかけのような感覚です。利用者さんの呼びかける声に応答する私たちがあつて、その双方の関係があつて初めて「意思決定支援」が成り立つのだと考えています。

私たちには、彼らの呼びかけを今度は「言葉」にして他の人にも伝えて、共有していくことが求められます。難しい仕事ですが、これはとても神秘的な、魅力に富んだ役割でもあります。

ご本人と援助者がともに決定していくこと

相談支援の実践研究の一人者である駒澤大学の佐藤光生先生とお話しする機会がありました。

「私たちは、言葉を話さない利用者の気持ちが分かることがあります。しかし、それはその人の声が聴こえたこととして、それをご本人の意思と解釈していいのでしょうか」と私が訊ねたのですが、佐藤先生は「それがご本人の意思であると説明できる根拠が必要です。普段からその人の行動をよく観察して、それらの行動からその人の気持ちをどれだけ理解できているかという『関係性』が根拠でしょう。」と答えられました。



地域交流事業

やきものまつりを味わう

私は、青葉の家の職員としてのひいき目でなく、毎年三月と十月のやきものまつりが大好きです。

それはなぜかというと、まずは陶芸。前回の三月二日『春のやきものまつり』は桃の節句の前日ということもあり、「お雛さまとオトモダチ展」をメインテーマに展示しました。柔らかな色合いとかわいらしい表情のお雛さまが愛くるしく、思わずニヤッ。「仕事中にいかん」と思いつつも、つい顔がほころんでしまします。心を和ませ季節感を味わえる陶器、どれも素敵です。



「チヨコシフォンケーキ」が大人気！程よい甘さに舌鼓が聞こえてきそうでした。

根洗作業所のクッキー、工房めいのせんべい・ラスクやホットチョコなども皆好評でした。

中庭では、楽しい大道芸や思わず体が動き出すような楽器演奏のアトラクションのほか、美味しいお汁粉もふるまわれウキウキ気分は最高潮です。また、浜松協働学習会を支える会の足田会長より手作りの古布ハンドバックを販売提供していただき、完売した売り上げをすべて寄付として頂きました、ありがとうございます。

当日は、浜松市外からもたくさんのお客様にご来場いただき、皆さまお一人おひとりに支えられていることをあらためて実感しました。仲間たちも楽しい一日を過ごすことが出来、市民の皆様との地域交流を進めることができました。

ぜひ次回の十月十二日（土）に、皆さんと一緒に秋のやきものまつりを味わってみませんか。

（吉田時成）

次にショッ

プ側でのパン

販売。お惣菜

パンもお昼ご

ろには完売し

ていましたが、

目玉のチヨコ

レート系の新

作、『マーブル

食パン』と

『チヨコシフォ

平成24年度浜松協働学習会を支える会会計報告

収入の部

科目	中区分	決算額A	予算額B	増減A-B	備考
寄付金収入		2,820,967	2,500,000	-179,032	
	会費収入	1,293,000	1,500,000	-207,000	会費+846人
	寄附金	1,027,967	1,000,000	27,967	一般寄付
雑収入		204,650	202,000	2,650	
	バザー収入	202,417	200,000	2,417	友愛広場57,600 やきもの祭り38,800 ボラフェス48,870 その他
	雑収入	2,233	2,000	233	雑金利息
合計		2,525,617	2,702,000	-176,383	

支出の部

科目	中区分	決算額A	予算額A	増減A-B	備考
一般物品費		42,705	5,000	37,705	バザー用エントナ 印刷シナ
印刷製本費		233,697	200,000	33,697	機関紙印刷代 封筒
役員費		167,470	170,000	-2,530	郵送料
交通費		66,943	30,000	36,943	しまふし例会、友愛広場、浜市連参加交通費
雑費		183,600	150,000	33,600	中元 歳暮 団体会費(少め風基金他)
小計		693,605	555,000	138,605	
特別会計繰入金支出		2,194,905	020,000	1,374,905	
	助成金	2,194,905	020,000	1,374,905	根洗作業所新築備品寄贈(机・椅子)施設運営費助成
予備費		0	1,327,000	-1,327,000	
支出計		2,888,740	2,702,000	186,740	
繰越額		-363,123	0	-363,123	前年度繰越金から



秋のやきものまつり
10月12日（土）
9：30～

場所 第二青葉の家

バザー・フリーマーケット
アトラクション